

## 2014年度 第1回 放射化分析研究会 拡大幹事会議事メモ

日時：2014年9月11日（木） 18:00～19:00

場所：名古屋大学 東山キャンパス 工学部 IB 館 会議室（放射化学会年会会場）

参加者：海老原、大槻、大浦、関本、高宮、松尾、宮本、箕輪、矢永（五十音順）

### ●総会（9/13）について（代表 松尾幹事）

- ・司会は、関本幹事。
- ・会計報告は、会計担当の澤幡幹事の代わりに司会の関本幹事と会計監査担当の海老原幹事とで説明する。
- ・総会参加者への配布物は必要か→不要。スライドで表示するだけとする。
- ・総会の内容は、施設報告、会計報告、幹事選挙結果報告、分析展セミナーの報告。

### ●会計報告（会計監査 海老原幹事）

- ・一般会計、特別会計の帳簿を監査した結果、適切な会計処理が行われていることを確認した。  
※会計状況に関して、今後の検討課題として以下の点が指摘された。
  - (i) 会員管理を明確化し、会費収入の増額をはかる。
  - (ii) 会誌の発行を従来通り年2回とすると今の会費収入では赤字となる。
- ・KUR レポート出版の補助を今後も行うかどうか議論が必要である。
  - ※経緯：京大原子炉からの補助+研究室負担で作成してきたが、近年不足になってきたため放射化分析研究会から援助して貰うことになった。
  - ※冊子としての形が必要か→KUR としては、開催実績として冊子があった方がよい。
  - ※冊数を減らせば必要経費が減るのでは→費用は印刷数に依存せず、部数を減らしてもあまり経費節約にはならない。
  - ※KUR レポートと放射化分析研究会誌と内容が重複するものがあるが両方出版する必要があるのか→放射化分析研究会誌に KUR の報告を載せ、それをレポートに代えることを検討する。
  - ※日本放射化学会に援助を依頼してはどうか→来年度は依頼してみる。

### ●幹事選挙結果について（選挙担当 海老原幹事）

- ・投票 10 票。有効 9 票、無効 1 票（添付忘れ）
  - ※当選数：9 位までを当選とすると計 11 名、12 位まで当選とすると計 14 名。  
→12 位までを当選とし幹事は 14 名とする。
  - ※各候補の得票数を公表するか→これまでは公表していなかったが、会の運営としてプラスになるなら、総会で公表してよいのでは。
  - ※各候補の得票数を踏まえた意見：世代交代の時期。積極的に参加している人、若い人が評価された結果。これまで支えてきた人も大事にする必要あり。いろいろな分野から参加していてバランスが取れていて良い。
- ・代表幹事は、幹事同士の互選により、継続して松尾幹事とする。
- ・幹事の役割を新たに追加する。副代表：三浦幹事、渉外：海老原幹事。
- ・他の幹事の役割は、継続を基本とする。
- ・総会では、選挙結果、代表幹事（松尾）、新たに決めた副代表（三浦）、渉外（海老原）について発表し、他の各幹事の役割については、今後の幹事会で正式に決定する。

### ●開放研に委託している研究会の事務について

- ・開放研から幹事が選出される、されないに関わらず、会として今後も開放研に事務局を置くことをお願いしたい旨を確認した。
- ・開放研としても、放射化分析研究会の事務局としてより機能的になることを目指して努力するとの意向が紹介された。
- ・会費の納入状況について、可能な限り過去に遡って明らかにし、それを踏まえて今後の対応を協議することを確認した。この作業は事務局（開放研）と会員担当幹事が協力しながら進める。

### ●今後の予定

11/19 KUR 専門研究会の際に拡大幹事会を行う。